

# 安養寺(比企郡嵐山町)

あんようじ

正面中央に安養寺山門が見える



中世の時代、大蔵宿の一角としてこの安養寺が存在していたようだ





嵐山町指定  
建造物

## 安養寺山門

指定 昭和六十年十二月一日  
所在 嵐山町大字大蔵宇  
時代 江戸時代後期

当山門は、棟札から江戸時代後期天保十年（一八三九）の造営と知れる。天台の宗門にふさわしく、重厚で気品あふれる風格をそなえ、貴族的趣味を彷彿とさせる。一部籠彫りの唐獅子・龍・花鳥が配される。

棟梁は、棟札に「河原明戸村飯田和泉藤原金統」とある。現在の熊谷市（旧大麻生村）の人で、当代北武蔵の名工と名高い。

なお、東松山市八雲神社社殿、川越市氷川神社の彫刻など、天保期の造営となる建造物の棟札にも飯田姓を多く見ることができ、これら一連の工匠と彫工は、同族飯田一族と推察されるが、その卓越した技法は群を抜いている。

昭和六十二年三月

嵐山町教育委員会

作家の今東光が若かりし頃に、この安養寺にて修行の身であったという







籠彫りの唐獅子・龍・花鳥







## 参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~ab9t-ymh/kakuchi/ranzan01/ookura.html>

<http://blog.livedoor.jp/rekisibukai/archives/1073740.html>

<http://www.myluxurynight.com/kanto/ranzan-01/ranzan-01.html>

<http://23.pro.tok2.com/~freehand2/rekishi/ookura.html>

